

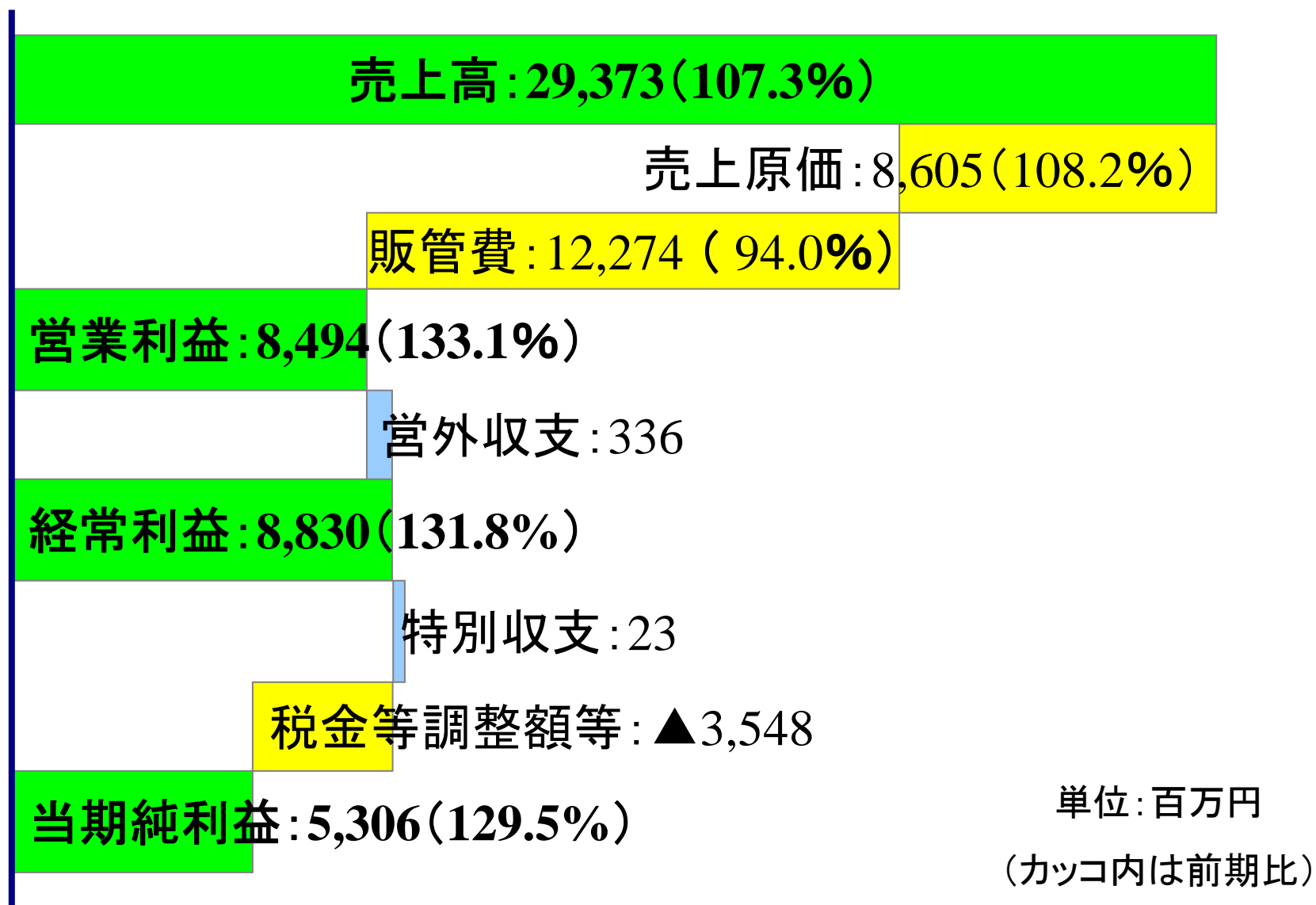
# 2008年2月期第1四半期の 営業状況について

このプレゼンテーション資料には将来の見通しが含まれています。これらの見通しや意見は、社内資料やその他の信頼するに足りると思われる資料をもとに作成していますが、将来の業績を保証するものではありません。よって、実際の売上高や利益等は、ここに記載されている内容と異なる場合があることをご承知おきください。

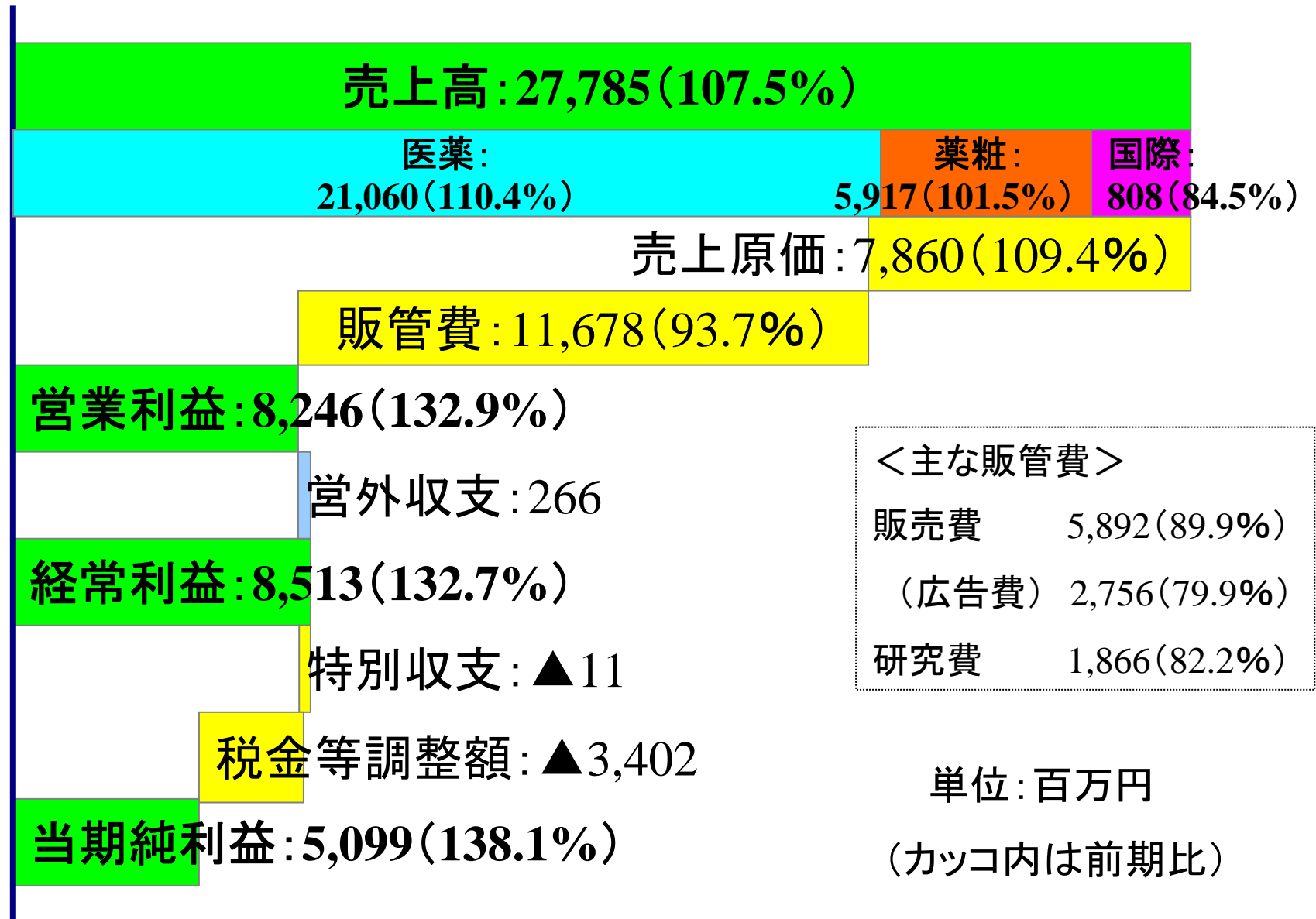
久光製薬株式会社

2007年6月28日

# 1.連結PL



## 2. 単体PL



### 3.部門別売上高

単位:百万円

第1Q	今期	前年 同期比	年間目標	年間目標の 前期比
医薬事業部	21,060	110.4%	85,500	108.0%
薬粧事業部	5,917	101.5%	22,700	104.9%
国際事業部	808	84.5%	3,300	102.0%
全社合計	27,785	107.5%	111,500	107.2%

# 4.主要商品別売上高

単位：百万円

	第1Q	今期	前年 同期比	年間目標	年間目標の 前期比
医療用医薬品	モーラステープ群	15,408	114.6%	62,600	111.4%
	(モーラステープL)	5,546	136.0%	23,600	127.0%
	モーラス群	3,234	95.6%	13,500	100.1%
	ナボール群	544	144.3%	2,400	118.5%
	インサイドパップ	301	83.6%	1,200	90.6%
一般用医薬品	サロンパス群	1,581	100.9%	7,100	104.4%
	サロンシップ群	1,122	111.3%	4,000	97.2%
	エアーサロンパス	494	99.2%	1,600	96.4%
	ブテナロック	1,021	85.7%	2,500	94.8%
	フェイタス群	1,097	119.9%	5,000	134.7%

## 5.損益サマリー（単体）

- 売上高
  - 医薬事業部：モーラステープ、モーラステープLが順調に推移
  - 薬粧事業部：フェイスの新アイテム効果一巡、ブテナロックが競争激化により苦戦
  - 国際事業部：ケプラットの在庫調整
  
- 売上原価
  - 原材料費の低減と商品構成比変動（想定原価率より0.4%改善）
  
- 販管費
  - 広告費 昨期新アイテム投入時の広告投下の差異
  - 研究開発費 P テーマHKT-500とKPT-220のピークアウトによる減少
  
- 営業外・特別収支
  - 特別収益：退職給付費用の戻り益 +1.7億円

# 6.研究開発パイプライン

ステージ	テーマ名	薬物	特長	対象	剤型	適応症	次のステップ
申請	SG-01 (商品名:ケアシート)	-	ハイドロコロイド製剤(吸水特性、 適度な湿潤環境)	日	貼付剤	創傷被覆保護材 (医療機器)	07年度承認予定
申請	HFG-512	フェンタニル	DuragesicのGE品	米	TDDS	強鎮痛	07年度承認予定
申請	FS-67(OTC)	サリチル酸 Lメントール	FDA対応のサロンパス	米	貼付剤	肩こり、筋肉痛	07年度承認予定
申請 準備中	KPT-220	ケトプロフェン	モーラステープの効能追加	日	貼付剤	関節リウマチ	07年度/申請
PⅢ	HKT-500	ケトプロフェン	モーラステープの米国導出	米	貼付剤	関節、腰背、筋肉痛	07年度/再PⅢ
PⅢ	HFT-290 (単独開発)	クエン酸 フェンタニル	TDDS(1日製剤)による投薬 コントロール	日	TDDS	癌性疼痛緩和	08年度/申請
PⅡ	HPL-509	ペルゴリド	TDDSによる投薬コントロール と副作用の低減	日	TDDS	抗パーキンソン	中断

※黄色の部分が前回4/5発表より変更のあった個所です。

## 7.HPL-509中断理由

1. 日本国内において、ペルゴリド経口剤の添付文書改訂が行われ、原則として第一選択薬とされなくなったため、今後の市場動向を見守る必要があること。
2. ペルゴリド経口剤に比べたHPL-509の安全性のさらなる基礎評価が必要であること。



# 世界の人々のQOL向上を目指す

2008年2月期第1四半期 営業概況

2007年6月28日

久光製薬株式会社